

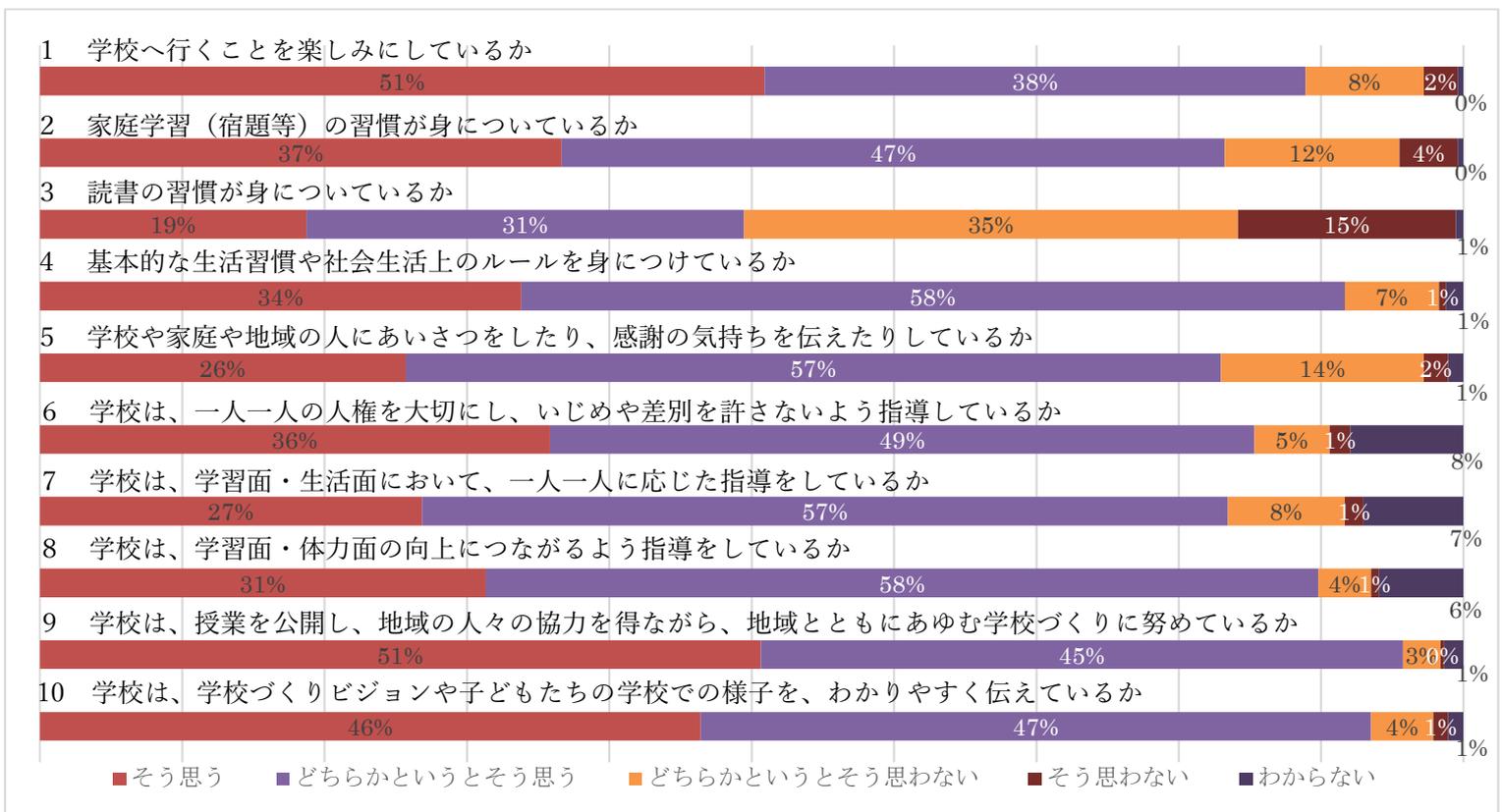
学校評価アンケートの結果について

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期末にご協力をお願いした保護者アンケート及び児童アンケートの結果を以下のとおりお知らせいたします。保護者アンケートにおいては、98%以上のご家庭から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1 保護者アンケート結果

肯定的回答（「そう思う」「どちらかというと思う」）の数値をもとに、昨年度のアンケートとの比較を行いました。全10項目中のうち、昨年度より5項目が上昇しました。



《主な項目の分析》 ○：評価数値が上昇 ●：評価数値が下降

○質問2 家庭学習（宿題等）の習慣が身についているか

昨年度83%から84%に1ポイント上昇しています。記述式回答からは、「親が何も言わなくても進んで忘れることなく行っているのだから、身についていると思う。」「帰宅したら、すぐに始められている。」など習慣化している子がいることがわかりました。一方で、「言わないとやらない。」「（習い事等で）宿題をする時間がない。」「嫌々しているのだから、取り掛かるまでに時間がかかる。」などの課題もあるようです。数値結果が上昇しているとはいえ習慣化していない現状があるので、ご家庭での声かけや取り組み方について検討していただくとありがたいです。学校としても各学級で宿題や家庭学習のやり方について、指導していくよう努めていきます。

○質問5 家庭や地域の人のあいさつをしたり、感謝の気持ちを伝えたりしているか

昨年度82%から83%に1ポイント上昇しています。この項目については、コロナ対策でマスクをしているので声が聞こえにくく、あいさつが減っているように感じていました。記述式回答にも「恥ずかしがり屋で、大きな声であいさつすることが苦手。」「知っている人にはあいさつするが、見守り隊や旗当番の方にはできていない。」「先生方は丁寧に働きかけしてくださっていると思います。家庭での課題だとも思います。」といったことが書かれていました。あいさつの意味や感謝の気持ちを伝える大切さを学校・家庭・地域が一体となって子どもたちに伝えていけるよう努めていきます。

○質問7 学校は、学習面・生活面において、一人一人に応じた指導をしているか

○質問8 学校は、学習面・体力面の向上につながるよう指導をしているか

この2項目については質問7が82%から84%、質問8が87%から89%と、ともに2ポイント上昇しました。どちらの項目も「教員に対する児童数が多いので、指導は大変だと思う。」「指導をしようとしても、すべての児童に伝えることは難しいと思う。」といった人数的な部分でのご意見が多くあがっていました。児童数が多い本校の現状の中でも「少人数制を取り入れ、難しくなっている算数など個人差が出てくるのでありがたい。子どももよく理解できているようです。」「先生が色々工夫してくれているのでありがたい。」といった回答も見られました。人数的な問題については、学級担任や専科教員の複数人での指導や、少人数指導取り入れています。今後もタブレットPC等、ICT機器を効果的に活用し、理解しやすい指導、一人一人に応じた指導を心がけ、わかりやすい授業の実現を目指します。

○質問9 学校は授業を公開し、地域の人々の協力を得ながら、地域とともに歩む学校づくりに努めているか

昨年度94%から96%に2ポイント上昇しています。コロナ禍で対応が難しく、従来通りにできないこともありましたが、質問10 学校は、学校づくりビジョンや子どもたちの学校での様子をわかりやすく伝えているかと同様に、高い評価をいただきました。今後も家庭や地域との連携を大切にし、様々な発信ができるように努めていきます。また、記述式回答には「コロナ禍でしたが学校公開日としてオープンにしてくださり、地域の方にも知らない部分で沢山協力してくださっていると思います。」「地域の見守りの方の協力は本当にありがたい。すごい！と思っています。」という、地域への感謝のお言葉もいただいています。

●質問1 学校に行くことを楽しみにしているか

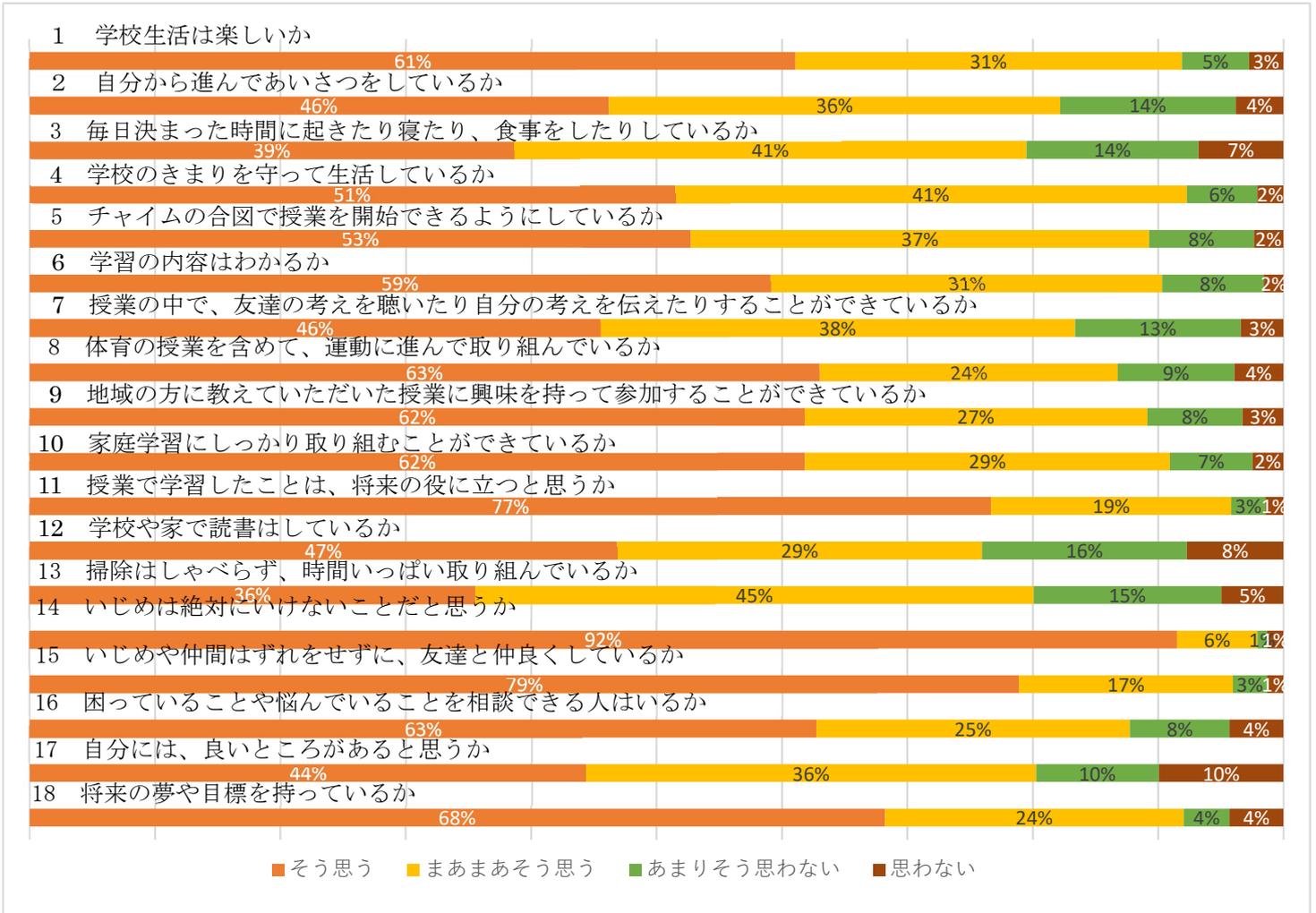
昨年度より2ポイント下降しました。新型コロナウイルスによる休校の影響があるのではないかと考えられます。記述式回答では、「楽しく学校に行っている。」「行きたくないと言ったことがないほど、学校生活を楽しんでいる。」といった声もある一方で、友達関係の悩み、苦手な教科、週明けや天候等で登校したくないといった声もありました。様々な理由が考えられますが、教育相談等を通して子どもたちの思いを聞く機会を充実させ、一人一人寄り添った対応していくよう努めていきます。

◇昨年度と変化のなかった項目の中に、質問3 読書の習慣が身につけているかがありますが、肯定的回答50%と低く、近年課題としている項目となっています。学校では朝読書や読み聞かせ、図書館まつりなど、子どもたちが読書に親しむ機会を設けていますが、改善が難しい項目です。それでも、読書時間と学力には相関関係もあることから、引き続き読書習慣の定着に取り組んでいきます。

その他、自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。落ち着いた環境で授業を受けることができるよう学習規律を徹底したり、子どもたちが安心して質問できるよう朝学習や休み時間の利用を工夫したりすることで、子どもたちのニーズに応えてまいります。

2 児童アンケート結果

児童アンケートは、昨年度から4項目を追加して全18項目で実施しました。そのため昨年度の結果と比較できる14項目で見ると、上昇が7項目、下降が4項目、残り3項目は同じ数値でした。



《主な項目の分析》

「4 学校のきまりを守って生活しているか」(肯定的回答92%)、「11 授業で学習したことは、将来の役に立つと思うか」(肯定的回答96%)、「14 いじめは絶対にいけないことだと思うか」(肯定的回答98%)は、昨年度同様に高い数値を継続し、「17 自分には良いところはあると思うか」「18 将来の夢や目標を持っているか」では肯定的回答が2~3ポイント上昇していました。このように多くの子どもたちが充実した学校生活を送っていることがわかります。

一方で「1 学校生活は楽しいか」は、肯定的回答が92%でしたが、保護者アンケートの質問項目1と同様に昨年度よりも2ポイント下降しました。このようなことから、子どもたち一人一人が抱えている問題の早期発見早期解決を目指し取り組んでいきます。また、子どもたちが主体的・意欲的に取り組むことができる教育活動の工夫に努めていきます。

また、「12 学校や家で読書はしているか」は1ポイント上昇したものの、肯定的回答が8割を超えていない現状を考え、引き続き読書活動への取組を行っていきます。

今回のアンケート結果をもとに、子どもたち一人一人がより主体的、積極的に学習、生活することを通して自信を持ち、友達とのかかわりや学校生活の中で一層自己有用感を高められるよう、今後も、日々の言葉かけや教育環境の整備に努めます。

紙面の都合上、全てのご意見をご紹介しますことはできませんでしたが、保護者の皆様からいただきました貴重なご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、日々の教育活動を工夫・改善することで、子どもや保護者、地域の皆様から、さらに信頼される学校づくりを進めていきたいと考えます。
お忙しい中、アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。